

新まちづくり計画（H16～18）事業総括調書

施策体系コード	3-4-3	事業名	緑を感じる都心の街並み形成計画策定および推進事業	
担当	市企画部都心まちづくり推進室都心まちづくり課 三浦 (211-2692)			
全体計画（当初）				
事業内容	人々が誇りと愛着を持てる新しい都市文化を育む場としての都心づくりを目指し、道路、公園、建物敷地内の広場などのオープンスペースをネットワークするとともに、それらの活用・管理のあり方、周辺の建築物の機能、形態のあり方等を総合的に捉え、都心の魅力を受け止めながら気持ちよく過ごせる環境を整えるための施策を体系的にまとめる。さらに、この中で、札幌駅前通地下歩行空間整備及び創成川通アンダーパス連続化に伴う、それぞれの地上部再整備の内容についても検討する。計画策定後は、計画の実現に向け、まちづくりガイドラインの検討等により計画のフォローアップを行う		<年度別の事業内容> ・平成15～16年度 外部委員会を設置し、2か年で計画を策定 ・平成17年度 計画の行政計画化、札幌駅前通・創成川通の沿道まちづくりガイドラインの検討など	
	平成16年度事業内容（決算） 新しい都市文化の創造、環境負荷軽減に寄与する都市づくり、うるおいとやすらぎある都市空間の創造などを目指し、都心の道路、広場、公園、民間敷地内の広場等のオープンスペースのネットワークの考え方や、その活用・管理のあり方、周辺の建物の機能・形態のあり方等を総合的に捉え、都心の魅力を受け止めながら気持ちよく過ごせる環境を整えるための重点的な取り組みをまとめた「緑を感じる都心の街並み形成計画」を策定した。 とりわけ、都心の魅力向上に大きく寄与することが期待される、札幌駅前通及び創成川通については、本計画の中で、再整備の基本計画をまとめた。 また、計画策定にあたっては、創成川通市民懇談会、駅前通まち使い懇談会、札幌駅前通及び創成川通のまちづくり広場、パブリックコメントなどを実施し、市民意見を計画に反映した		平成17年度事業内容（決算） 「緑を感じる都心の街並み形成計画」の行政計画化、及び、計画のフォローアップとして、札幌駅前通及び創成川通において、沿道地権者を中心としたまちづくり協議会設立に向けた取り組みを行った結果、札幌駅前通協議会が設立された。 また、本計画の策定及び札幌駅前通地下歩行空間の活用検討については、都市再生総合整備事業の一環として行っており、17年度においては、都市再生総合整備事業の整備計画を策定する予定であった。しかしながら、整備計画策定の際、主要な要素となる創成川通再整備は、創世1.1.1区の事業化の動向に大きく影響を受けることから、整備計画策定を延期し、創世1.1.1区事業化基礎検討を行った。	
事業内容（量・場所・規模等）	平成18年度事業内容（決算） ・計画の実現に向けて、創成川通再整備に係るデザイン検討、創世1.1.1区事業化検討と平行して、都市再生総合整備事業の整備計画の策定を進め、費用便益分析調査を実施した。 ・計画のフォローアップとして沿道まちづくりガイドライン検討の支援を行った結果、札幌駅前通協議会において、専門部会が設置されるなど地区計画策定の機運が高まった。 ・札幌駅前通地下歩行空間整備を契機として、沿道ビルの建替え計画の相談があったことから、北2条西4丁目地区における都市再生事業に対する助言・支援 大通交流拠点における地権者によるまちづくりガイドライン策定に対する助言・支援を実施した。		評価（成果） 本計画の策定により、官民が一体となってまちづくりに取り組むための指針ができ、ストリートの個性と魅力を高める取り組みを実施した結果、以下のとおり評価される。 札幌駅前通沿道において札幌駅前通協議会が充足し、地下歩行空間整備及びそれに伴う地上部整備の内容はもとより、まちづくり全般につき、官民で意見交換を行える場ができた。 を契機として、沿道地権者間にまちづくりガイドライン策定に対する意識が高まり、都市計画提案に向け活動が進んでいる。 北2条西4丁目地区において、三井不動産及び日本郵政株式会社による都市再生特別地区及び都市計画の提案があった。 大通交流拠点において、地権者によるまちづくりガイドラインが策定され、都市計画が提案された。 創成川通再整備においては、狸小路 - 二条市場間の広場空間整備の方向性について協議中	
			課題 ・札幌駅前通協議会においては、引き続き、都市計画提案に至るまでフォローアップが必要 ・創成川通再整備においては、狸小路 - 二条市場間の広場空間整備の方向性について、引き続き協議する必要がある。 ・札幌駅前通地下歩行空間など、公共空間の管理・活用を行う母体となる組織（まちづくり会社など）の立上げの検討・支援	
19年度以降の方向性（事業予定）				
<p>本計画に基づき進めてきた各取組みについては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創世1.1.1区については、これまでの再開発勉強会開催などの取組みの結果、19年度は再開発基本計画策定に取り組むこと ・市民交流複合施設検討は続くものの、都市再生総合整備事業の整備計画策定も、19年度秋頃を目途に策定予定であること ・札幌駅前通地下歩行空間の活用検討については、総合交通計画部が主体となり検討を進めていること ・札幌駅前通沿道において地区計画策定の機運が高まるなど、沿道まちづくりガイドライン検討支援も一定の成果をあげたことなどから、本事業費自体は18年度限りとし、19年度以降は、札幌駅前通協議会による都市計画提案のフォローアップ（エリアマネジメント支援の一環として、都心まちづくり推進費で対応）創成川通再整備に係る協議継続（同上）札幌駅前通地下歩行空間などの公共空間の管理・活用を行う組織（まちづくり会社など）の立上げ検討・支援（新中心市街地活性化基本計画策定費で対応）を実施する。 				

